

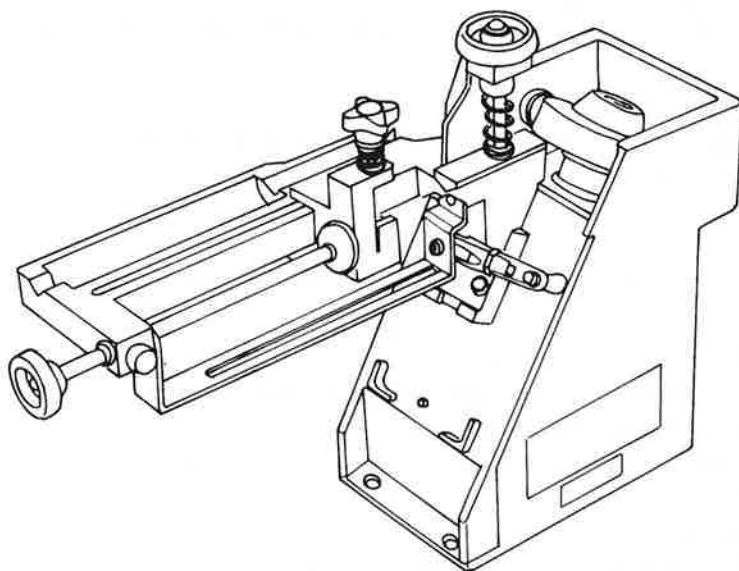
RYOBI

ドリルシャープナ

DBS-13

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。





— もくじ —


・安全上のご注意	1
・各部の名称	5
・仕様	6
・使用方法	7
・保守と点検	15

このたびは、リョービドリルシャープナをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。


使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。


注意文の 警告、 注意の意味について



ご使用上の注意事項は  警告と  注意に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

 警告  注意以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業場は、事故の原因になります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 一般に電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・ 機械を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、機械やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場に近づけないでください。

△ 警告

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理をして使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために機械の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った機械を使用してください。
 - ・小型の機械やアタッチメントは、大型の機械で行う作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。
 - また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って機械を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 加工する物、または機械をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するときは、クランプや万力などを利用してください。
 - 手で保持するより安全で、両手で機械を使用できます。
 - ・機械によっては、機械本体を移動しないようロープ等を使って固定してください。
12. 無理な姿勢で作業しないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・接続箇所は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、機械のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理をする場合。
 - ・付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が想定される場合。

⚠ 警告

15. 調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。
 - ・電源を入れる前に、調整に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグに電源をさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かしてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない機械は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

●ドリルシャープナご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ドリルシャープナをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速になりけがの原因になります。
2. 使用に際しては、安全のため保護めがねの着用を心掛けてください。
3. 砥石は純正品を使用してください。
 - 純正品以外の砥石を使用されますと過負荷からのモータ焼けなど故障の原因となるだけでなく、けがの原因になります。
4. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・異常があると、砥石が破損し、けがの原因になります。
5. 使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店または、リョービ販売営業所に点検、修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 水、研磨液などは使用しないでください。
 - ・乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
7. 本体を手で持った使い方はしないでください。必ず固定してください。
 - ・不安定だけでなく、作業中に倒れたりしてけがの原因になります。
8. 研磨粉は、火花となって飛散します。引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や本機のボディなどに破損、亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があるとけがの原因になります。
10. アースの接続は、確実にこなってください。
 - ・爆発・引火の恐れがあります。絶対にガス管などをアース端子に接続しないでください。
11. 本機のスイッチが切れていることを確認してから、電源プラグを差し込んでください。
 - スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
12. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
13. 使用中、刃先を砥石に無理に押付けたりしないでください。
14. 指定以外の場所での研磨（例えば上面などでの研磨）は、大変危険ですから行わないでください。
15. 事業者の方へ
 - ・砥石の取替え、試運転は、法規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

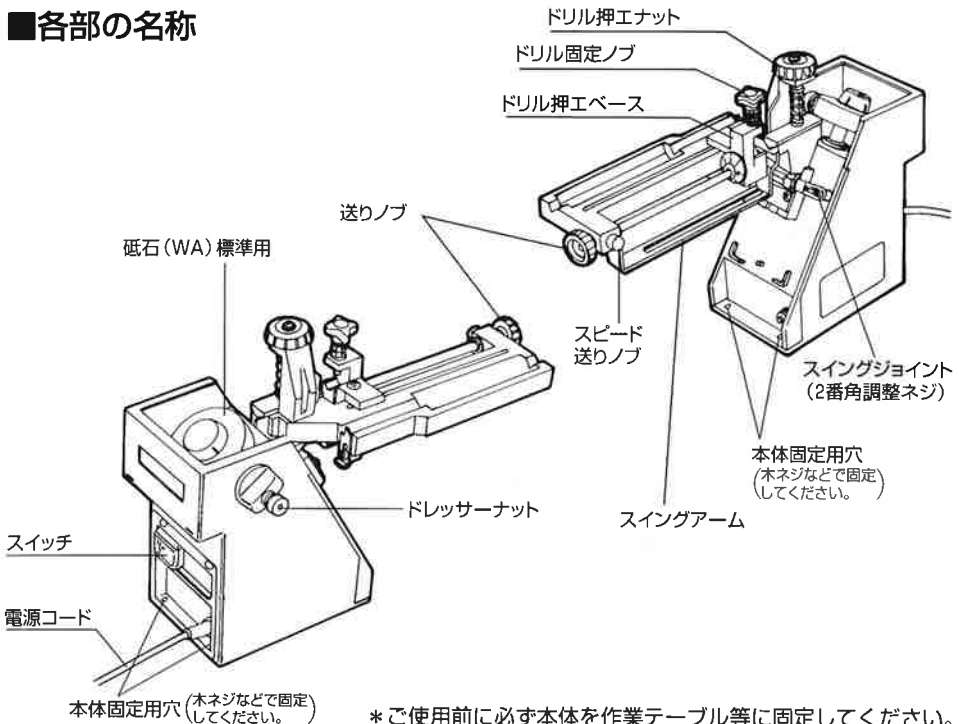
△ 注意

1. 新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
 - ・砥石が破損したとき、けがの原因になります。
2. 試運転を励行してください。
 - ・試運転時間は、砥石交換のとき 3分間以上
その日の作業始めのとき 1分間以上です。
 - ・試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
3. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、外れたりし、けがの原因になります。
4. 本機の定格時間は5分です。
5分以上連続して使用すると、温度が上昇し、モーター焼けの原因になることがあります。
一度スイッチを切り、電源プラグを抜いて15分位休ませてからご使用ください。
 - ・二番角調整ネジは、工場出荷時に調整済です。
触れないでください。

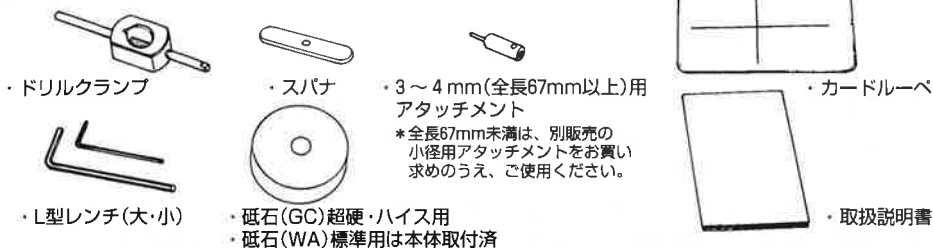
延長コードは…

1. アース線を備えた3芯コードを使用してください。
2. アース線のない2芯コードのみでは、感電の原因になります。

■各部の名称



●付属品



■特長

- ・鉄工用ドリルビットの刃先研磨は、従来から素人では困難とされてきましたが、本機の使用で二番すくい角が理想の円錐状に、精度よく研磨出来ます。
- また、別販売のシーニングアタッチメントを利用すれば、切りくずの排出が良くなります。

■用途

- ・鉄工用ドリルビットの研磨


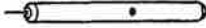


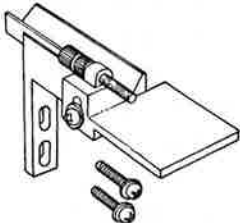


△ 注意

1. 指定の用途以外には、絶対に使用しないでください。

■仕様

電 圧	100V・50/60Hz	研磨できるドリル	3mmから13mm迄
消費電力	55W	ドリル先端角	118°(標準)
回転数	13,000回/分	コード長さ	2.5m
定格使用時間	5分	機体寸法	280×200×110mm
絶縁方式	シングル	重 量	1.9kg
砥 石	外径50×内径12.7×厚み13mm	* 定格時間を越えて使用しないでください。	

■別販売品

<ul style="list-style-type: none"> ●砥石(WA)標準用 No.21202 	<ul style="list-style-type: none"> ●小径用アタッチメント (3mm以下のドリルが研磨できます。)  <ul style="list-style-type: none"> ・3mm用 No.21207 ・2mm用 No.21210 ・2.6mm用 No.21208 ・1.6mm用 No.21211 ・2.4mm用 No.21209 ・1.5mm用 No.21212 <p>上記寸法以外は受注生産となります。 *ご注文の際には、サイズをお申し付けください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●砥石(GC)超硬・ハイス用 No.21203 	
<ul style="list-style-type: none"> ●ダイヤモンド砥石 超硬・ハイス用 No.21204 	<ul style="list-style-type: none"> ●シーニングアタッチメント No.21213 
<ul style="list-style-type: none"> ●血ビス座ぐり90度研磨砥石 ・アルミ穴あけに最適な90度の設定ができます。また、血ビス座ぐり用の研磨もできます。 ・砥石(WA) No.21205 ・ダイヤモンド砥石 No.21206  	

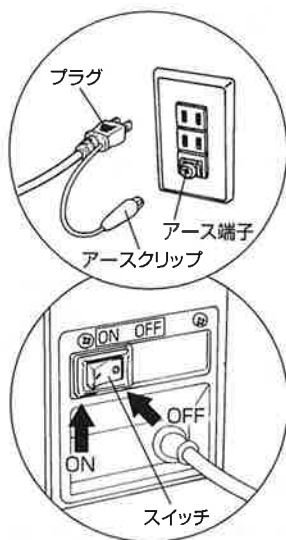
■使用方法

⚠ 注 意

1. 電源接続の前に、必ずアース(接地)をとってください。
また、電源コード(電源プラグ)をコンセントに接続(電源接続)する前に、スイッチが切れていることを確認してください。
2. 明るいところで使用してください。
3. 作業の際は、安定した状態で使用してください。
4. 刃物の取付け、調整の際は、安全のため必ず電源コンセントより電源コード(プラグ)を外してください。
5. 安全のため、必ず保護めがねを使用してください。

●電源の接続

- ・電源プラグより出ているアースクリップを利用して、電源コンセントのアース端子にアース接続(接地)をしてください。アースの端子がないときは、別にアース棒などを使ってアースを引く工事を行ったうえで確実に接続してください。
- ・スイッチが切れていることを確認したのち、電源コンセントに電源コード先のプラグを差し込み、電源を接続します。
- ・スイッチは、「ON」側を押すと電源が入り、砥石が回転します。「OFF」側を押すと、電源は切れ、砥石の回転は停止します。使わないときは、必ずスイッチを「OFF」(切る)にしてください。



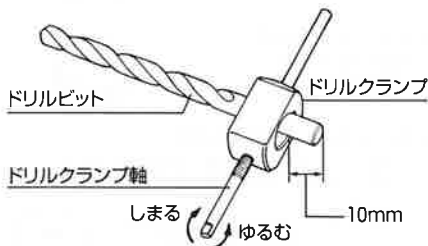
●ドリルビットのセット

〈標準スキ角の設定〉

1. ドリルビットをドリルクランプに差し込みます。

ドリルクランプの後側にドリルビットが10ミリ出た位置に合わせてください。この位置でドリルクランプ軸を軽く回し、仮固定します。

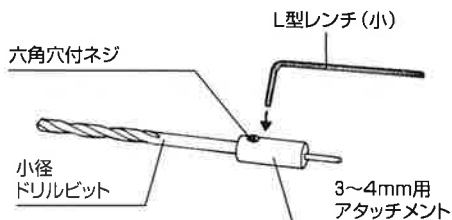
長いドリルビットは、ドリルクランプの後側に10mmほど出しますが、直径3～4mmのドリルビットは全長が短いので後には出しません。



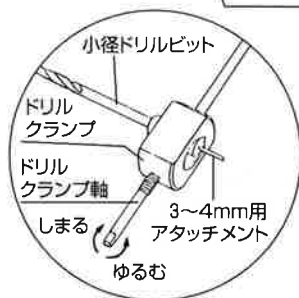
- ・直径3～4mmで全長が67mm以上のドリルビットを研磨するときは、付属の3～4mm用アタッチメントを使いドリルクランプにセットします。

- ・直径4mm以下で、全長67mm未満の小径ドリルビットを研磨する場合は、別販売の小径用アタッチメントをお買い求めのうえ、ドリルクランプにセットして使用ください。

- ・アタッチメントの六角穴付ネジをL型レンチ（小）を使ってゆるめ、図のようにドリルビットをセットします。



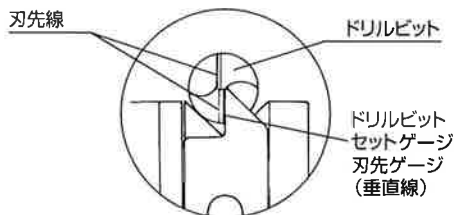
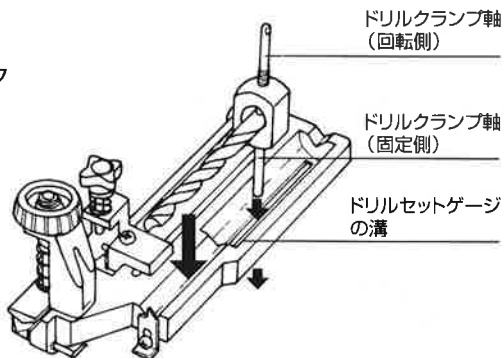
- ・六角穴付ネジを締付けてドリルビットとアタッチメントを固定し、このアタッチメントにセットされたドリルビットを、ドリルクランプに取付けて作業を進めてください。



2. ドリルビットの刃先の線と、ドリルクランプの軸を一直線にそろえます。

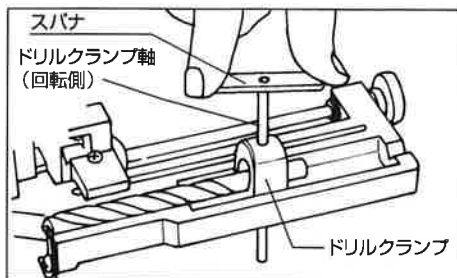
- ・ドリルクランプの軸をドリルセットゲージの溝に入れ、ドリルビット（ドリルクランプ付）をセットしてください。

- ・つぎに、ドリルクランプの軸をゆるめ、ドリルビットセットゲージの刃先ゲージ（垂直線）にドリルビットの刃先を合わせてください。



刃先を合わせた状態のまま、再度ドリルクランプの軸を締付け、固定します。
 ・小径ドリルビットの場合、付属のカードルーペを使い、正しく刃先線を合わせてください。

〈スキヤ角標準〉



ドリルシャープナの特別マニュアル

ドリルをクランプに取付けるとき、図のように角度をつけて取付ければスキヤ角の調節が簡単にできます。

太いドリルの場合…………… B～C

細いドリルの場合…………… A～B が適当です。



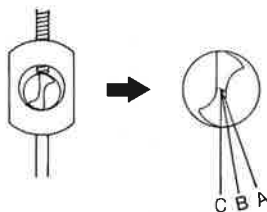
スキヤ角大



スキヤ角大



スキヤ角標準



ここが細く、
又は丸くなっているドリル



スキヤ角が
上がって見える



△ 注意

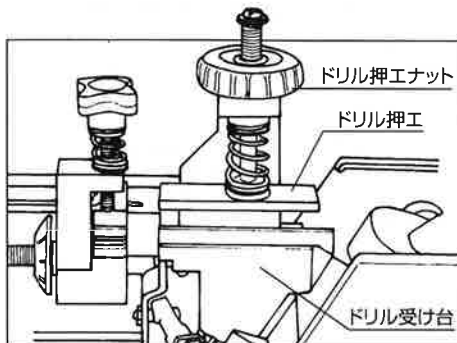
1. ドリルによってスキヤ角がとれていない様に見えるドリルがあります。このドリルシャープナでは自動的にスキヤ角がとれます。



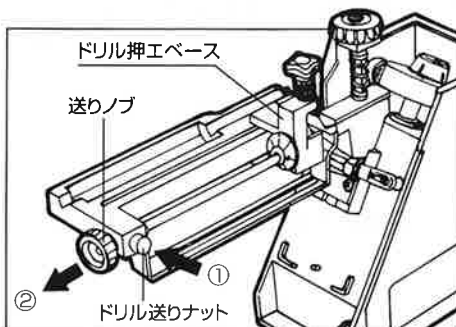
シーニングアタッチメントを使用して研磨すれば切りくずの排出が良くなります。

但し、研磨しすぎると1番角が弱くなります。

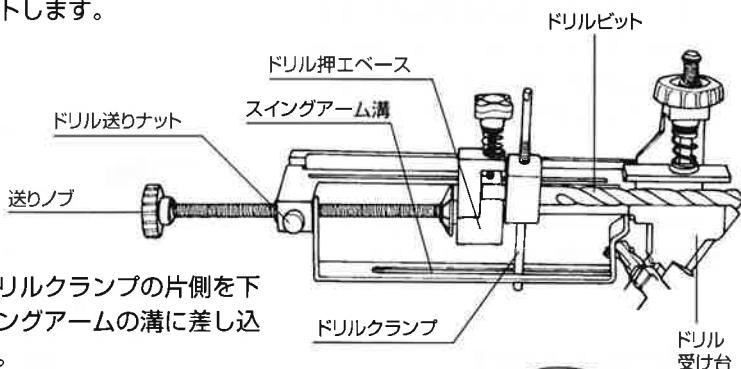
3. ドリル押エナットを右方向へ回し、ドリル押エをドリルビットの太さ以上に持ち上げます。



4. ドリルビットとドリルクランプがセットしやすい位置までドリル押エベースを移動させます。
ドリル送りナットを押えたまま送りノブを後方へ引くと、早く移動できます。

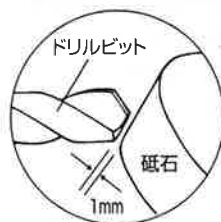


5. ドリルビットの後側をドリル押エベースにセットし、ドリルビットをドリル受け台にセットします。

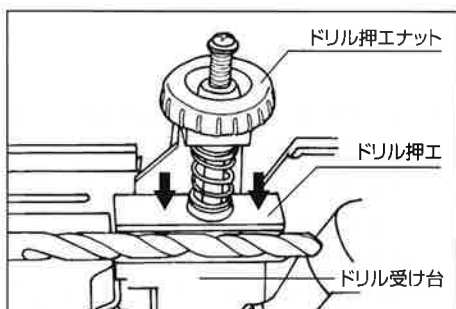


このとき、ドリルクランプの片側を下にして、スイングアームの溝に差し込んでください。

6. ドリル送りナットを押えながら送りノブを持ち、ドリルビットの先を砥石の手前1mmぐらいのところに移動させてください。



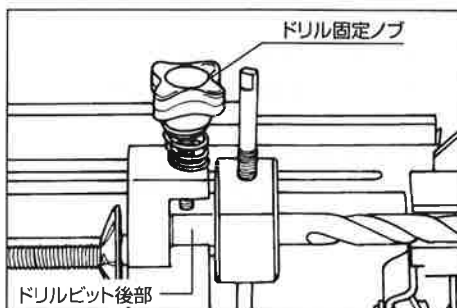
7. ドリル押エナットを左に回し、ドリル受け台の上のドリルビットをドリル押エで軽く押えます。
ドリル押エは、スプリングの荷重で行われるので、ドリル押エナットは負荷が無くなるまで、ゆるめます。
このとき、ドリル押エはドリルビットを均等に押える（平行になる）ようにしてください。



8. ドリル固定ノブを右に回し、ドリルビットの後側(上)に軽く当てるようにしてください。

研磨時の浮き上がり防止です。

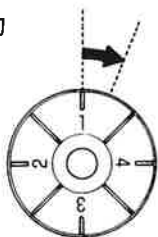
8 mm以下のドリルビットでは、このドリル固定ノブは使いません。



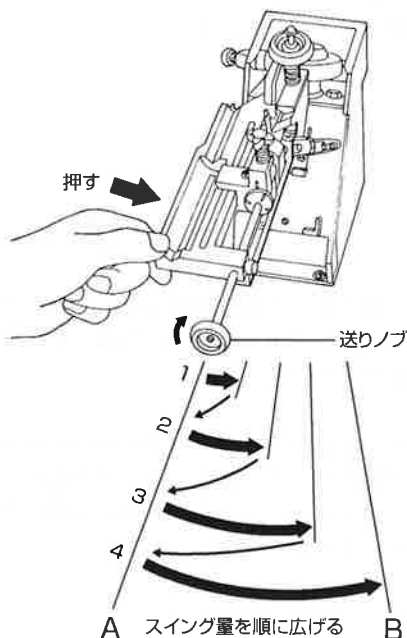
9. スイッチを入れ、砥石を回転させます。送りネジを少しずつ回し、ドリルビットを前に送りながらシャープナ本体を左右にスイングさせて研磨します。

送り込む量(研磨)に合わせAからBへのスイングの量を、最初は小さく、研磨に合わせ順に大きく広げてください。

- ・ AとBの間に交互に移動させながら、送りノブを1/2目盛りぐらいづつ回し、送ります。



これでドリルビットの刃が、片側だけ研磨されました。



⚠ 注意

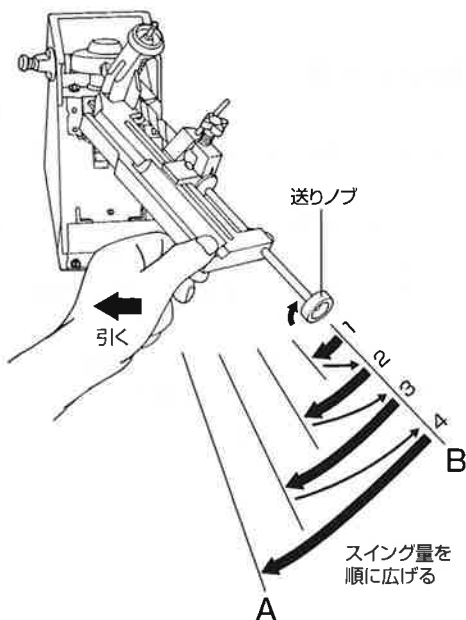
1. 残った片側の刃先を研磨する時の、送り量合わせに必要となりますので、送りノブは絶対に動かさないでください。
2. 刃欠けが大きい場合は、送りノブを回し送りながらスイングし、刃欠け部分がなくなるまで研磨してください。
3. 送り量が大きすぎたり、研磨をきつく行なうと、刃先が焼ける場合があります。送り量が研磨に対して大きすぎるときは、送り量を小さくしてください。

10. 片側の刃先を砥ぎ終えたら、シャープナ本体を最大にスイングさせた（Bの位置）状態で一度スイッチを切り、砥石の回転を止めてください。

送りノブには触れないでください。

シャープナ本体を、ドリルクランプが外しやすいようにAの方向に少しだけ戻してください。

- ・ドリルクランプにドリルビットを取付けたまま、ドリル押エナットを回してドリル押エを持ち上げます。
 - ・次にドリル固定ノブをゆるめ、ドリルビットを取外してください。
 - ・ドリルクランプを上下逆に入替え、スイングアームの溝に差し込みます。
 - ・ドリル押エベースとドリル受け台にドリルビットを再度取付けてください。
11. シャープナ本体をBの状態に戻し、スイッチを入れ砥石を回転させます。送り込む量に合わせながらBからAの方向にシャープナ本体を少しずつスイングし（スイング幅を少しずつ広げながら）、研磨してください。
- ・シャープナ本体が、Aの位置まで戻り、刃先が砥石に当たらなく（研磨しなく）なったら研磨は出来あがりです。
 - ・スイッチを切って砥石の回転を止めてください。
 - ・ドリル固定ノブをゆるめた後、ドリル押エナットを回してドリル押エを持ち上げます。
- ドリルクランプごと、研磨のできたドリルビットを取外します。



⚠ 注意

1. 研磨した直後のドリルビット先端は熱くなっています。
素手で触れないでください。
やけどの原因となります。

●砥石ドレッサの使い方

⚠ 注意

1. ダイヤモンド砥石（別販売）を使用しているときは、絶対に砥石ドレッサを使用しないでください。

- ・ 研磨を重ねると、砥石表面が段べり（凹凸）します。
砥石を回転させた状態で、ドレッサーナットを軽く押え2～3回上下させ平らにします。
- ・ 砥石の直径が45mmほどに減りましたら、砥石の交換時期と考え、新しい砥石と交換してください。



●砥石の交換

⚠ 警告

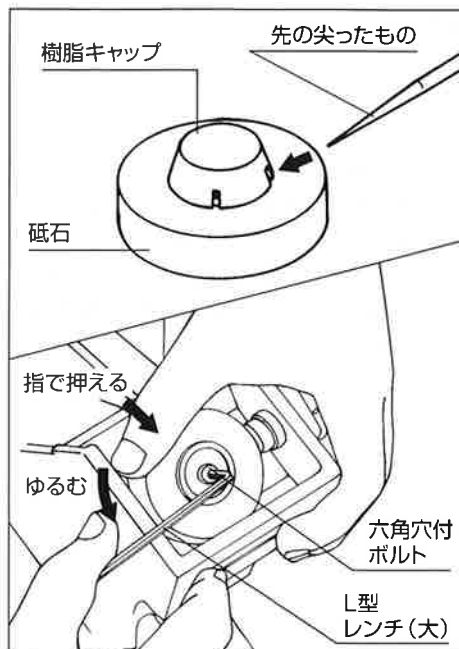
1. 砥石の取付け、取外しのときは、スイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
不意な始動によるけがの原因になります。
2. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると砥石が破壊し、けがの原因になります。

- ・ スイッチが切ってあることを確認した後、電源コード（プラグ）を電源コンセントから外してください。

〈砥石の取外し〉

- ・ 砥石中央上の樹脂キャップを、先の尖った細いピンのようなものを使い、4個所の何れかの溝に入れ、起して取外してください。

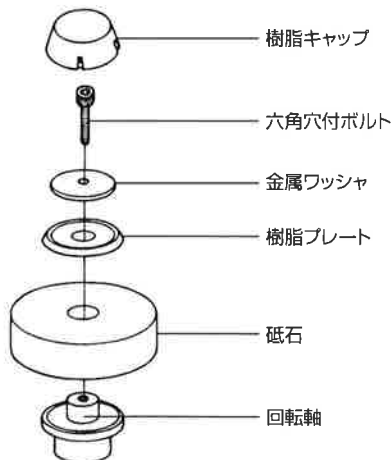
- ・ 砥石を回らないよう、指でしっかりと押さえてください。
つづいてL型レンチ（大）を使い砥石を固定している、六角穴付ボルトをゆるめ、六角穴付ボルトと金属ワッシャ、樹脂プレートと一緒に取外します。



- ・ 回転軸から砥石を抜き取り、新しい砥石に交換してください。

〈砥石の取付け〉

- ・ 砥石を確実に回転軸に入れ、樹脂プレート中央の出た方を下にして、砥石中央の穴に入れてください。
続いて、金属ワッシャ、六角穴付ボルトの順に装着し、L型レンチ（大）を使い、確実に六角穴付ボルトを締付け、砥石を固定してください。
最後に樹脂キャップを上から押えて取付けてください。



■保守と点検

- ・使用後は、粉じん等は取り除き、きれいな状態で保管してください。
- ・各部にネジのゆるみや異常がないか、時々点検してください。
- ・砥石に異常な摩耗がないか、ワレ、カケなどがないかよく点検してください。
- ・汚れは、乾いた布でふき取ってください。
- ・金属部分には、サビ防止のため防錆油等を軽く付けてください。
- ・保管は、小さいお子様の手の届かないところで落下などの恐れのない、安定したところにしてください。
また、湿気が無い屋内で、直射日光の当たらない、涼しいところに置いてください。

部品のご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更する場合があります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社